

## 保育計画成果報告書

法人名等	株式会社CRECER
施設名	クニナ奏の杜保育園
報告者（役職）	佐藤 亜紀（副園長）
住所・連絡先	千葉県習志野市奏の杜3-10-7
	☎ 047-406-3490 E-mail kanadenomori@crecer-hoiku.jp

### ○タイトル（保育計画）

「どんな夢の種も育つ「心の土壌」をつくる」

### ○主な助成備品

歩行セット、アスレチックセット、平均台、鉄棒、パズル、ボール、ボールプール、知育玩具他

### 1. 保育計画策定の目的

運動により体幹が育ち、集中力があがり疲れにくくなる。テーブルに座ること、姿勢の保持ができるようになる。怪我をしにくい。発達に沿った玩具を増やすことにより、子ども達が主体的に遊びを広げていける環境ができる。

### 2. 具体的な実施内容 及び 3. その成果と評価

#### 0歳児・・・粗大あそびを楽しむ

坂のマットをハイハイすることにより、背中や腕の発達がより促された。また、ワニの玩具で楽しく遊ぶことで歩行が上手になり、行動範囲が広がって興味のある場所へ積極的にいけるようになった。



## 1 歳児・・・いろいろな歩行を楽しむ

運動遊具が充実したことにより、体の色々な箇所を意識した遊びに促しやすくなった。つまみの付いたパズルでは、始めのうちは手のひらでつかむ様子が見られたが、次第に指先で上手につまみ、はめ込むという動作ができるようになった。0歳児でもつまむという指先の遊びにより、食事の際の手づかみ食べの上達にもつながった。



## 2 歳児・・・体全体をつかって遊ぶ

細くアップダウンのある遊具に両手を広げて、足の指等にも力を入れながらバランスを取り、歩く。体のバランス感覚と歩行がしっかりしてきたことで、子ども同士でぶつかったりすることも減ってきたように感じた。運動会では保護者と共に楽しんだ。



### 3歳児・・・さまざまな運動感覚を養う

一本橋や丸太渡りなどで、どうしたら落ちないように進めるか考えたり、ともだち同士でアドバイスし合いながらコツをつかんだりと楽しむ姿が見られた。



### 【4・5歳児・・・さまざまな運動感覚を養う】

いくつかのアスレチックをつなげることにより、バランス感覚や体幹を意識して運動することができた。5歳児は、鉄棒の練習を積極的に行った。始めはつかまっていることすら難しかったが、練習を重ねるうちに上達し、最後には逆上がりができる子や、少しの補助でできる子もいた。冬の発表会では一人ひとりが保護者の前で披露し、歓声を浴びて自信に満ちた笑顔が見られた。



指先を使った玩具では、集中して作品作りに励んだ。子ども達発信で「恐竜展」を行った。自分たちで作成したコスチュームをきてスタッフになり、他クラスの子ども達を招待し大変盛り上がった。子ども達同士で考えて、協力し合う姿がたくさん見られた。



#### 4. 今後の課題と展望

アスレチック等の遊具でダイナミックに遊ぶことができ、1年を通して体の成長の変化に驚きました。できない悔しさやチャレンジする気持ちを経験し、年度の終わり頃には心も体も大きく成長しました。楽しく遊びながら子どもの様々な能力を、より引き出せたと感じています。個々により発達の段階が異なるため援助のポイントも変わってきます。引き続き、個々の発達に沿った粗大遊びや微細遊びの環境設定、保育室の使い方を考えながら取り入れ、向上を促していきたいと思えます。

以上